

## (2) 総合教育部（理系）学生対象

【共】…共通教育科目 【専】…専門教育科目 【教】…教育の基礎的理解に関する科目等

【 】内は、専門教育科目の卒業要件を記載しています。 【必】…必修 【選必】…選択必修 【選】…選択  
共通教育科目の卒業要件は、「共通教育科目履修案内」で確認してください。

### 融合学域

1 年次履修可能な専門教育科目 1 年次配当の科目

#### 先導学類

##### 履修が望ましい科目等

- ・基礎科目及び初習言語科目は、学類の修得すべき単位数及び条件を確認の上、履修してください。
- ・1 年次配当の専門教育科目は総合教育部（文系及び理系）学生を想定したものではありませんが、興味を持った学生、希望する学生には、アントレプレナー基礎【必】、イノベーション基礎【必】（学域GS科目）、数理・データサイエンス基礎及び演習【必】（学域GS科目）、デザイン思考【必】（学域GS科目）の履修を勧めます。
- ・これらの専門教育科目の履修人数を制限する場合があります。
- ・これらの専門教育科目はすべて2 年次でも履修できます。

### 理工学域

1 年次履修可能な専門教育科目 1 年次配当の科目

#### 数物科学類

##### 履修が望ましい科目等

- ・1 年次配当の専門教育科目は総合教育部（理系）学生を想定したものではありませんが、興味を持った学生、希望する学生には、【専】数学物理学基礎演習 A【選必】、【専】数学物理学基礎演習 B【選必】、【専】情報・計算科学基礎【選必】（3 科目すべて学域GS科目）の履修を勧めます。
- ・次の科目は2 年次以降の専門教育科目履修との兼ね合いから、可能であれば1 年次に履修しておくことを勧めます。  
中学校理科の教員免許を取得希望の場合→【共】化学実験  
情報の教員免許を取得希望の場合→【専】情報・計算科学基礎【選必】（学域GS科目）、【専】計算科学【選】

#### 物質化学類

##### 履修が望ましい科目等

- ・【専】物理化学基礎 A【必】、【専】物理化学基礎 B【必】、【専】有機化学基礎 A【必】、【専】有機化学基礎 B【必】
- ・基礎科目は、学類の必修及び必要単位数を確認の上、履修してください。
- ・教育職員免許状の取得を希望する学生には、1 年次に第66条の6に定める科目（『共通教育科目履修案内』参照）と【教】教師論及び【共】化学実験の履修を強く推奨します。2 年次に学類に移行する際に教職ガイダンスを改めて実施します。

#### 機械工学類

##### 履修が望ましい科目等

- ・【専】微分方程式及び演習（時間割番号20301.005）【選】（Q 3, Q 4 火曜 2 限）、【専】先端テクノロジー概論 A【選必】（学域GS科目, Q 3 火曜 5 限）、【専】先端テクノロジー概論 B【選必】（学域GS科目, Q 4 火曜 5 限）
- ・基礎科目は、学類の必修及び必要単位数を確認の上、履修してください。

## フロンティア工学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**専**微分方程式及び演習（時間割番号20301.005）【選必】（Q3，Q4火曜2限），**専**先端テクノロジー概論A【選必】（学域GS科目，Q3火曜5限），**専**先端テクノロジー概論B【選必】（学域GS科目，Q4火曜5限）
- ・基礎科目は，学類の必修及び必要単位数を確認の上，履修してください。

## 電子情報通信学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**専**微分方程式及び演習（時間割番号20301.005）【選必】（Q3，Q4火曜2限），**専**先端テクノロジー概論A【選必】（学域GS科目，Q3火曜5限），**専**先端テクノロジー概論B【選必】（学域GS科目，Q4火曜5限）
- ・基礎科目は，学類の必修及び必要単位数を確認の上，履修してください。

## 地球社会基盤学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**共**データサイエンス基礎，**共**地域概論，**共**物理学I A，**共**物理学I B，**共**化学I A，**共**化学I B，**共**地学I A，**共**地学I B，**共**微分積分学I A，**共**微分積分学I B，**共**線形代数学I A，**共**線形代数学I Bの単位を修得しておかないと2年次開講の必修科目等が取れず留年する可能性があります。
- ・**共**物理学実験と**共**化学実験は選択必修であり，どちらかの単位を修得する必要があります。
- ・基礎科目として，前述の必修科目，選択必修科目のほかに，4科目（4単位），合計で16単位が必要です。
- ・基礎科目は，学類の必修及び必要単位数を確認の上，履修してください。
- ・一級建築士受験資格を得るためには，建築学副専攻を修了する必要があります。
- ・教育職員免許状の「理科」の免許と「工業」の免許では，必要な科目が異なります。「理科」の場合，**教**教師論/**共**物理学実験/**共**化学実験/**共**生物学実験が必要です。

## 生命理工学類

### 履修が望ましい科目等

- ・**専**生命理工学概論A【選】，**専**生命理工学概論B【選】  
（必修科目ではありませんが，生命理工学類の内容を理解する上で参考になりますので履修を薦めます。）
- ・GS科目「**共**細胞・分子生物学」を履修することを望みます。
- ・教育職員免許状の取得を希望する学生は，教育職員免許法及び同施行規則に定められた単位を修得しなければなりません。生命理工学類で取得できる教育職員免許状の種類や免許状の取得に必要な単位の修得方法は、『理工学域履修案内』及び『共通教育科目履修案内』に記載しています。中学校1種免許状（理科）を取得する場合は，**共**物理学実験及び**共**化学実験の修得が必要です。

[注] 1年次配当の専門教育科目の授業時間割 閲覧先：  
国際基幹教育院Webサイト>新入生・在学生の方へ>総合教育部>学域・学類の情報  
<https://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp/students/>



## 医薬保健学域

1年次履修可能な専門教育科目 収容人数等の関係上，履修可能な専門教育科目はありません。

## 医学類

### 履修が望ましい科目等

- ・医学類を目指すならば，例えば，GS科目の「**共**細胞・分子生物学」を履修する等，生命科学を学ぶことを望みます。

- ・ 共通教育科目の履修

移行点対象科目及びその他医学類で定める修得すべき共通教育科目36単位以上を、導入科目及び「専」アカデミックスキル」「専」プレゼン・ディベート論」を含めて総合教育部1年次に修得してください。未履修や単位不足があると、医学類に移行した時点で、次年度、3年次に進級できないことが確定する場合があります。

- ・ 移行前学修として、1年次の春季休業期間に一部の専門教育科目を開講します。詳細は、別途案内します。

## 薬学類

### 履修が望ましい科目等

- ・ 国統計数学A, 国統計数学B

・ 1年次に修得が望ましい専門教育科目はありません。本来1年次で修得すべき専門教育科目は、学類移行後の2年次から履修します。

・ 共通教育科目は可能な限り1年次に修得してください。導入科目及び「専」アカデミックスキル」「専」プレゼン・ディベート論」に未履修や単位不足があると2年次以降での修得が困難となる場合があります。

## 保健学類

### 履修が望ましい科目等

・ 検査技術科学専攻では、基礎科目の国統計数学A, 国統計数学Bを1年次にできる限り履修してください。

・ 1年次に修得が望ましい専門教育科目はありません。本来1年次で修得すべき専門教育科目は、学類移行後の2年次で履修し、履修登録単位数の上限超過は保健学教務委員会で審議します。

・ 共通教育科目は可能な限り1年次に修得してください。導入科目及び「専」アカデミックスキル」「専」プレゼン・ディベート論」に未履修や単位不足があると2年次以降での修得が困難となる場合があります。「専」アカデミックスキル」は、移行後に「国初学者ゼミⅠ」に読み替えます。また、「専」プレゼン・ディベート論」は、移行後に「国プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）」に読み替えます。

## 4 履修上限（CAP制）

各クォーターに履修登録できる科目の上限単位数は、12単位です。

ただし、次の科目は、履修登録の上限には算入しません。

(1) 集中講義として開講する授業科目

(2) いしかわシティカレッジにおいて開講する授業科目

(3) 放送大学において開講する授業科目

(4) 基礎科目（統計数学A, 統計数学B, 物理学実験, 化学実験, 地学ⅠA, 地学ⅠB）。ただし、総合教育部（理系）に所属する者が履修する場合に限る。

また、履修登録許可単位数の上限は、前学期のGPAが2.7以上の場合に撤廃します。

## 5 外部試験による成績評価・単位認定制度

1年次のGS言語科目（英語）は、一定のスコア等の基準を満たせば、「S」で成績評価を受けることができます。また、初習言語科目及び単位を修得できなかった場合のGS言語科目（英語）は、外部試験のスコア等により単位認定を受けることができます。（詳細は『共通教育科目 履修案内』を確認してください。）

ただし、GS言語科目は、6科目が移行点対象科目であるため、必ず6科目を履修してください。（p.14で確認）